

# つくばアグリつうしん かわら版

2024年9月6日

TEL : 029-836-1109

FAX : 029-836-1816

E-mail : tsunofu@pref.ibaraki.lg.jp

発行元 : つくば地域農業改良普及センター

HPはこちらをアクセス! >>>



## つくば地域における有機農業の取組

国では2021年に「みどりの食料システム戦略」を策定し、2050年までに有機農業の面積割合を25%に拡大する目標を掲げています。有機農業は環境負荷を軽減できることに加え、肥料・農薬のコスト低減や消費者ニーズに対応した高付加価値化による収益性の向上も期待できます。

そのため、つくば普及センターでは自動抑草ロボット（写真1）や乗用型除草機を活用した有機栽培米実証圃の設置による栽培技術の検証と確立の推進や、みどり認定※の申請を支援しています。

7月16日に、実証圃があるつくば市の有限会社 関農産において、有機栽培米の現地検討会を開催し（写真2）、生育状況の説明および乗用型除草機の実演を実施しました。実証圃は雑草発生量を無除草区の約5%に抑えており、水稻の生育量も化学肥料を使用した慣行区と同程度を確保できています。

今後も普及センターでは、有機農業の支援を引き続き行っていきます。

※化学肥料・農薬の使用低減などに取り組む農業者の認定制度。有機農業以外も対象。

太陽光で自動走行して、水をかき回すことで田んぼが濁るので抑草できるよ！



写真1 自動抑草ロボット



写真2 現地検討会の様子

## つくば地域の水稲の出穂状況と収穫適期(予測)について

今年の出穂期は、コシヒカリ・ふくまる SLともに平年より早くなりました。

また、平均気温からの収穫適期の予測では、コシヒカリは平年より3～7日程度、収穫適期が早いと予測されました。

さらに、登熟期間の気温が平年より高く、今後も高いと予想されているため、収穫適期は予測値より早まる可能性があります。（表1）

高品質米生産のために、早刈りや刈り遅れがないよう、適期収穫に努めましょう。

品種	調査地点		田植日	出穂期	収穫適期 (※予測値)
コシヒカリ (中生品種)	つくば市上菅間	R6	5/2	7/20	8/26～8/31
		平年値	5/1	7/25	9/3～9/7
	つくば市今鹿島	R6	5/3	7/21	8/27～9/1
		平年値	5/1	7/24	8/31～9/4
	つくばみらい市中島	R6	5/2	7/21	8/27～9/1
		平年値	5/1	7/25	9/1～9/5
ふくまる SL (早生品種)	龍ヶ崎市	R6	4/25	7/9	8/15～19

表1 管内の水稲の出穂状況と収穫適期（予測）

※収穫適期(予測値)は、8/12までの平均気温(R6)と8/13以降の平均気温(平年値)の積算気温から算出。

# 県南地域農業学園開催中！受講生募集！

県南農林事務所の3普及センター（土浦、稲敷、つくば）では、新規就農者を対象に、基礎的な栽培技術や経営改善の方法等に関する講座「県南地域農業学園」を開催しています。本年6月28日に第1回講座「土づくり講座」、7月30日に第2回講座「鳥獣害対策講座」、8月2日に第3回講座「ネギ講座」を開催しました。

「土づくり講座」では、4.3haの有機野菜を栽培し、土壤医検定1級を取得している石田真也氏から、土づくりの考え方、たい肥や緑肥の活用法、土壤診断結果の見方について講話いただきました。

「ネギ講座」では、機械化により家族経営で2.3haのネギを栽培する竹前豊氏から、ネギの栽培ほ場を見学しながら、品種の選定方法や夏期の高湿時における栽培の注意点、就農時の段階的な設備投資のポイント、資材高騰にともなう代替肥料の活用などについて説明いただきました。

第4回以降は、農業経営や販売促進、農業資材、農業機械のメンテナンス、農薬安全・病害虫対策に関する講座などを開催する予定です。興味・関心のある方は、当普及センターまでお問い合わせください。



▲「ネギ講座」の様子



▶「土づくり講座」の様子

令和6年度開催内容		
第1回	土づくり講座	(終了)
第2回	鳥獣害対策講座	(終了)
第3回	ネギ講座	(終了)
第4回	先進経営農家視察研修講座	(9月18日)
第5回	販売戦略講座	(10月)
第6回	農業資材展示会視察研修	(11月)
第7回	農業機械メンテナンス講座	(12月)
第8回	県南地域プロジェクト合同発表会	(1月)
第9回	農薬安全・病害虫講座	(2月)

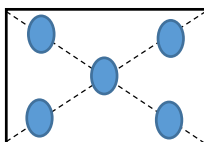
## 土壤診断について

月に1回、土壤診断を行っています。施肥設計にお役立てください。

### 注意点

持込期限：毎月20日前後

(期限の詳細については普及センターにお問い合わせください。)



持込点数：1人5点まで

採土方法：ほ場1筆全体の状態を調べたい場合は、ほ場の対角線から表土を除く5か所を採土し、混和してください。(上図参照)

その他：茶碗約1杯分の土を乾いた状態でお持ち込みください。

## 農作業中の事故に注意！

茨城県では過去10年間、農作業事故により、毎年10人前後が亡くなっています。事故防止するためには...

- ①機械の正しい操作方法の確認
- ②体調が万全状態での機械の使用
- ③農業機械の日常的な点検、整備
- ④農作業中の周囲への注意(傾斜や障害物等)
- ⑤機械操作中のヘルメットや作業着、ゴーグルなどの着用
- ⑥労災保険等各種補償制度への加入等の対策を行い、事故防止に努めてください。

農作業安全の手引きはこちら▶  
(令和6年茨城県農林水産部産地振興課)



## 農作物の盗難防止対策を実施しましょう。

農作物盗難対策についてのチラシはこちら(茨城県農林水産部産地振興課)▶

